

令和2年度 第2回県内学事視察・ さわやかトークング



第2回学事視察において、県立つるぎ高等学校を訪問しました。また、教育委員と教職員が意見交換を行う「さわやかトークング」を併せて開催しました。

令和3年1月21日（木）
徳島県立つるぎ高等学校

授業視察

スペシャリストの育成



3年生「鋳造」



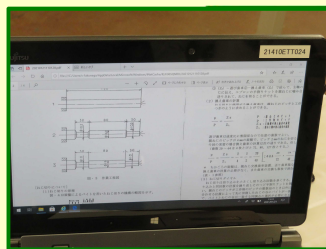
3年生「アーク溶接」



3年生「プログラミング」

つるぎ高等学校は、工業科と商業科が併設されており、工業、商業の各分野で社会に貢献できる人材の育成をめざし教育活動を展開している。

ICTの活用



3年生「旋盤」

専門教科の実習においても1人1台端末を活用している。
授業者から、その時点の作業に必要な図面が送信されることで誤りなく作業を行え、また、生徒は図面を必要に応じ拡大・縮小し、正確に作業工程を確認することができる。

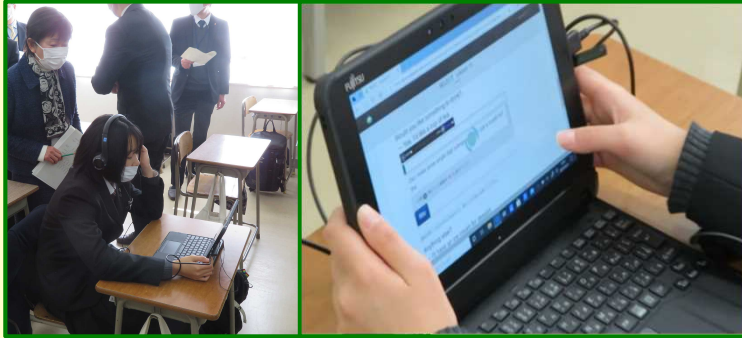
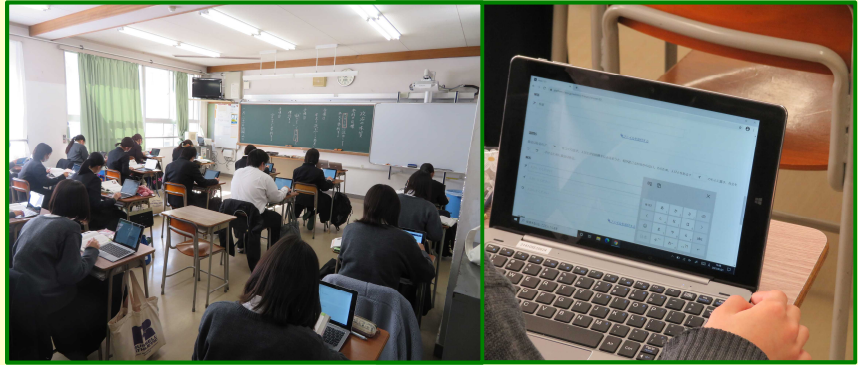
3年生「数学」

1人1台端末と電子黒板を活用することで、生徒の学習活動を、即座に授業にフィードバックすることが可能となり、授業者と生徒が、協働的に授業を進行していける。



2年生「国語」

学習支援アプリケーションを活用することで、演習問題の受取、解答、提出を各自の端末内で処理でき、一斉授業においても、各自のペースで学習を進めることができる。



3年生「英会話」

AI（人工知能）を用いた学習支援アプリケーションにより、英会話の発音の正確性が判定される。英語4技能における話す技能についても、個別最適化された学習活動を可能としている。

さわやかトークング（教職員と教育委員との意見交換）

テーマ「ICTを活用した地域との連携」



JRのトロッコ列車内とつるぎ町の観光名所、学校をインターネットで結び、観光案内を実施。



つるぎ町の景観をドローンの360度カメラで撮影し、動画配信サイトの町や県のチャンネルにおいて配信。



教育委員からは、生徒自身が地域の魅力を掘り起こし発信する取組への評価と、こうした活動を通じて、地元に残る選択をする卒業生の増加につなげてほしいといった意見が出ました。また、教職員からは、自分たち自身が学校所在地のことをしっかり学ぶ必要があることと、情報発信の在り方をさらに工夫する必要があるとの意見が出されました。